

ALPS処理水の処分に関する 安全対策・風評対策の最近の動向

トピック集 2025年8月

販促・魅力発信

- 8月6日(水)～7日(木)の2日間にわたって、経済産業省で開催された「**経済産業省こどもデー**」にて、福島県産の水産物である「**常磐もの**」を使った料理を提供するキッチンカーを出店。
- 6日には「常磐もの」を使った「シーフードジャンバラヤ」や「ガパオライス」といった本格的なエスニック料理を、7日には「常磐もの」などを使った「パエリア」を提供し、2日間合計で約250食を販売した。
- 合わせてお子様向けのメニューとして、福島県産の桃を使用したジュースや、赤べこクッキーなども販売し、子供から大人まで**多くの**来場者に「常磐もの」や福島県産品を使った料理を味わっていただいた。

イベントの様子

【8月6日】



【8月7日】



- 7月18日(金)に事業継続力強化計画の普及を目的とした「令和7年度 第1回全国中小企業強靱化支援協議会 担当者会議」を開催し、昼食には**三陸・常磐ものネットワークに参画する業者が販売する弁当を購入し、総員18名へ提供した。**

注文したお弁当



7月18日(金)の食事の様子



注文したお弁当

【三陸岩手産】寒ブリ照り焼きと【三陸青森産】ホタテフライを使用したお弁当

- 東京電力が福島県産品の美味しさや魅力を伝えるために実施している「発見！ ふくしま」の取り組みの一環として、**8月1日から24日までの間、福島県産品のPRイベント「ふくしま満彩！ グルメフェアSummer」を開催した。**
- 首都圏の新規参加20店舗を加えた合計33店舗の飲食店で、**各店舗の特色を活かしたメニューを提供するフェアを開催。**期間中、フェアメニューをご注文いただくと、人気イラストレーター「ナガキパーマ」様デザインのオリジナルステッカーをプレゼントしたことで大変ご好評いただいた。

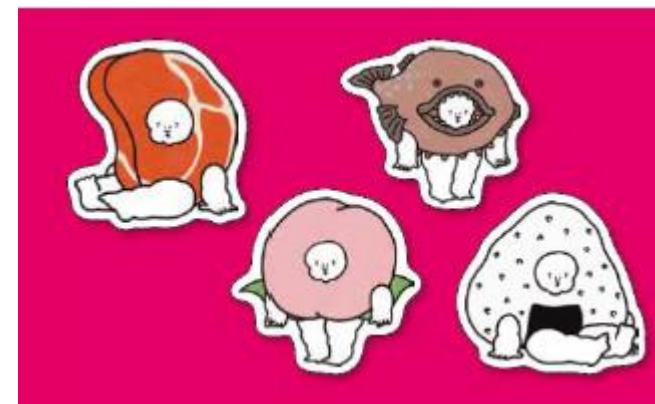
ふくしま満彩！ グルメフェアSummer

■ 日程：8月1日（金）～24日（日）

■ 首都圏飲食店全33店舗



グルメフェアポスター



プレゼントしたナガキパーマ様の
オリジナルステッカー

理解釀成

- **ALPS処理水に係るモニタリングの結果を一目でわかるマーク形式で表示**するページについて、**Yahoo!JAPANのトップページにバナー広告を掲載。**

ALPS処理水に係るモニタリングページ（抜粋）

みんなで
知ろう。
考えよう。
ALPS処理水のこと

- ALPS処理水って何？
本当に安全なの？
- トリチウムって何？
- なぜALPS処理水を
処分しなければ
ならないの？
- 本当に海洋放出しても
大丈夫なの？
- 近海でとれた
魚は大丈夫なの？

ALPS処理水に係る
モニタリング

経済産業省
Ministry of Economy, Trade and Industry

Twitter Facebook Line Messenger

日本語 | English

安全対策・
風評対策の取組 > 関連コンテンツ >

ALPS処理水に係るモニタリング

ALPS処理水は、放出前に、含まれる放射性物質の濃度測定を行い、安全基準を下回っていることを必ず確認するなど、厳格に管理されて放出が行われることから、近傍に生息する魚などの食品の安全性の問題は生じません。さらに、放出前後で、海水、魚類、海藻類のモニタリングを強化して実施し、状況を確認していきます。

ALPS処理水の分析結果

放出完了した水 ※

東京電力及び第三者機関のJAEAが放出前のALPS処理水の分析を行い、
いずれも基準を満たしていることを確認しました

※7月10日に採取を行ったALPS処理水（K4-Aタンク）
※基準：トリチウム以外の告示濃度比値和1未満

放出完了した水 ※

東京電力及び第三者機関のJAEAが放出前のALPS処理水の分析を行い、
いずれも基準を満たしていることを確認しました

※12月22日に採取を行ったALPS処理水（K4-Bタンク）
※基準：トリチウム以外の告示濃度比値和1未満

東京電力福島第一原子力発電所近傍海域のモニタリング結果（海水・魚に含まれるトリチウム）

現在の状態 ※

異常なし

※最新の各種間での分析結果をもとにしています

凡例

- 異常なし：「放出停止判断レベル」（設備の運用状況等の確認が必要な指標）を超えていないときに表示
- ⚠ 「放出停止判断レベル」を超えるときに表示

※「放出停止判断レベル」は、「放水口付近で700Bq/L」「放水口付近の外側10km四方内で30Bq/L」と定めています。これを超えた場合でも、周辺海域のトリチウム濃度は安全基準60,000 Bq/LやWHO飲料水基準10,000 Bq/Lを十分下回り、周辺海域は安全な状態です。

Yahoo!JAPAN バナー広告

みんなで
知ろう。
考えよう。
ALPS処理水のこと

周辺の
海の状況は
どうなっているの？

経済産業省
Ministry of Economy, Trade and Industry

みんなで
知ろう。
考えよう。
ALPS処理水のこと

海水や魚は
大丈夫なの？

経済産業省
Ministry of Economy, Trade and Industry

ページはこちら

Copyright Ministry of Economy, Trade and Industry. All Rights Reserved.

- 「ALPS 処理水について知ってほしい5つのこと」をそれぞれ1分程度でわかりやすく解説する動画について動画広告を展開。
(動画はそれぞれ画像左下の2次元コードからご覧いただけます。)

1分程度でわかりやすく解説する動画

みんなで
知ろう。
考えよう。
ALPS処理水のこと



動画で解説
ALPS 処理水って何？
本当に安全なの？




- ① ALPS処理水って何？
本当に安全なの？

みんなで
知ろう。
考えよう。
ALPS処理水のこと



動画で解説
トリチウムって何？




- ② トリチウムって何？

みんなで
知ろう。
考えよう。
ALPS処理水のこと



動画で解説
なぜALPS処理水を
処分しなければならないの？




- ③ なぜALPS処理水を
処分しなければならないの？

みんなで
知ろう。
考えよう。
ALPS処理水のこと



動画で解説
本当に海洋放出をしても
大丈夫なの？




- ④ 本当に海洋放出をしても
大丈夫なの？

みんなで
知ろう。
考えよう。
ALPS処理水のこと



動画で解説
近海でとれた魚は
大丈夫なの？




- ⑤ 近海でとれた魚は
大丈夫なの？

- 8月3日（日曜日）から8月4日（月曜日）の2日間にわたって、原子力損害賠償・廃炉等支援機構の主催の下、**第9回福島第一廃炉国際フォーラムが開催**されました。（8月3日：葛尾村、8月4日：いわき市）
- 本フォーラムには、**大串経済産業副大臣（原子力災害現地対策本部長）が出席**し、東京電力福島第一原子力発電所における廃炉作業の進捗、ALPS処理水の海洋放出の安全性確保・情報発信や福島における産業復興に向けた取組を説明するとともに、福島県が未曾有の複合災害を乗り越え、社会課題を解決する先進地となるよう創造的復興を実現すべく尽力していく旨を述べ、国内外の皆様に**積極的な情報発信**を行いました。
- 辻本経済産業省福島復興推進グループ長が参加した**パネルディスカッション**では、**地元の皆様が参加する形で廃炉作業の関係者と直接の対話**が行われ、**東京電力福島第一原子力発電所における廃炉と未来についての共通理解が深められました**。
さらに、国内外の専門家間で、世界で行われる廃炉の取組の最新状況等につきプレゼンテーションや意見交換が行われました。

【経産省】 第9回福島第一廃炉国際フォーラムにおいて東京電力福島第一原子力発電所の廃炉と未来について地元の皆様や国内外の技術専門家と語り合いました

<https://www.meti.go.jp/press/2025/08/20250804001/20250804001.html>

（参考URL） 第9回福島第一廃炉国際フォーラムについて <https://ndf-forum.com/>



フォトセッション



大串経済産業副大臣の挨拶



廃炉関係者と地域住民の対話

- 小泉農林水産大臣は、令和7年8月10日（日曜日）から11日（月曜日）まで、韓国（仁川）で行われた日中韓農業大臣会合へ出席するとともに、韓国の宋美玲（ソン・ミヨン）農林畜産食品部長官及び趙顕（チョ・ヒョン）外交部長官との会談等を行いました。
- 宋美玲（ソン・ミヨン）農林畜産食品部長官及び趙顕（チョ・ヒョン）外交部長官と**貿易上の課題を含む両国間の様々な課題について意見交換**を行いました。

農林水産大臣記者会見概要（抜粋） 令和7年8月15日

様々な両国間の課題について、率直な意見交換を行うとともに、今言及のありました、**日本産水産物の輸入規制の撤廃に向けて、私からも**申し上げましたし、日本産食品の安全性をしっかりと取り上げさせていただきました。今、両国の間では往来者数が過去最高を記録しています。訪日観光客の多くが日本の安全でおいしい食品を楽しんでおられますので、日本産食品への信頼は十分回復していると考えています。**早期の規制撤廃に向けて、双方の関係省庁間の意思疎通が速やかに進むことを強く期待**をしています。

【農水省】 小泉農林水産大臣の海外出張概要について（日中韓農業大臣会合等）

https://www.maff.go.jp/j/press/yusyutu_kokusai/chiiki/250811.html

小泉農林水産大臣記者会見概要

<https://www.maff.go.jp/j/press-conf/250815.html>



（写真提供：農水省HP）



（写真提供：農水省HP）

- 笹川農林水産副大臣は、令和7年8月25日（月曜日）から8月26日（火曜日）まで、韓国（釜山）に出張し、現地の水産事業者との意見交換等を行ったほか、水産物輸入施設等の視察を行いました。
- 笹川農林水産副大臣からは、冒頭、「**韓国内における日本産水産物への信頼回復が重要であり、日韓が協力して水産物貿易を拡大する契機としたい。**」と発言しました。
- 現地の水産事業者からは、「日本産水産物の品質が良いとの評価が定着しつつあり、需要がある。日本からもっと多くの魚種と量を輸入したい。」「今後も民間同士での対話も含め課題解決のための意見交換が行われることを期待したい。」などの声を伺いました。

【農水省】 笹川農林水産副大臣の海外出張（韓国）結果概要について

https://www.maff.go.jp/j/press/yusyutu_kokusai/kikaku/250828.html



水産事業者との意見交換
(写真提供：農水省HP)



北海道から輸入・搬入されたホタテの水槽を視察する笹川副大臣
(写真提供：農水省HP)

安全確保

東京電力

○海水中トリチウムを測定

- 放水口周辺 4 地点毎日、その他 6 地点で週 2 回（放出期間中）、放水口周辺 4 地点週 1 回、その他 6 地点で月 1 回（放出停止期間中）迅速分析を実施。

水産庁

○水産物は年約380検体でトリチウムを測定

- ①放水口の北北東へ約 4 km、②放水口の南南東へ約 5 kmの **2 地点で、週 4 回迅速分析を実施**（放出のない期間は週 1 回）

環境省

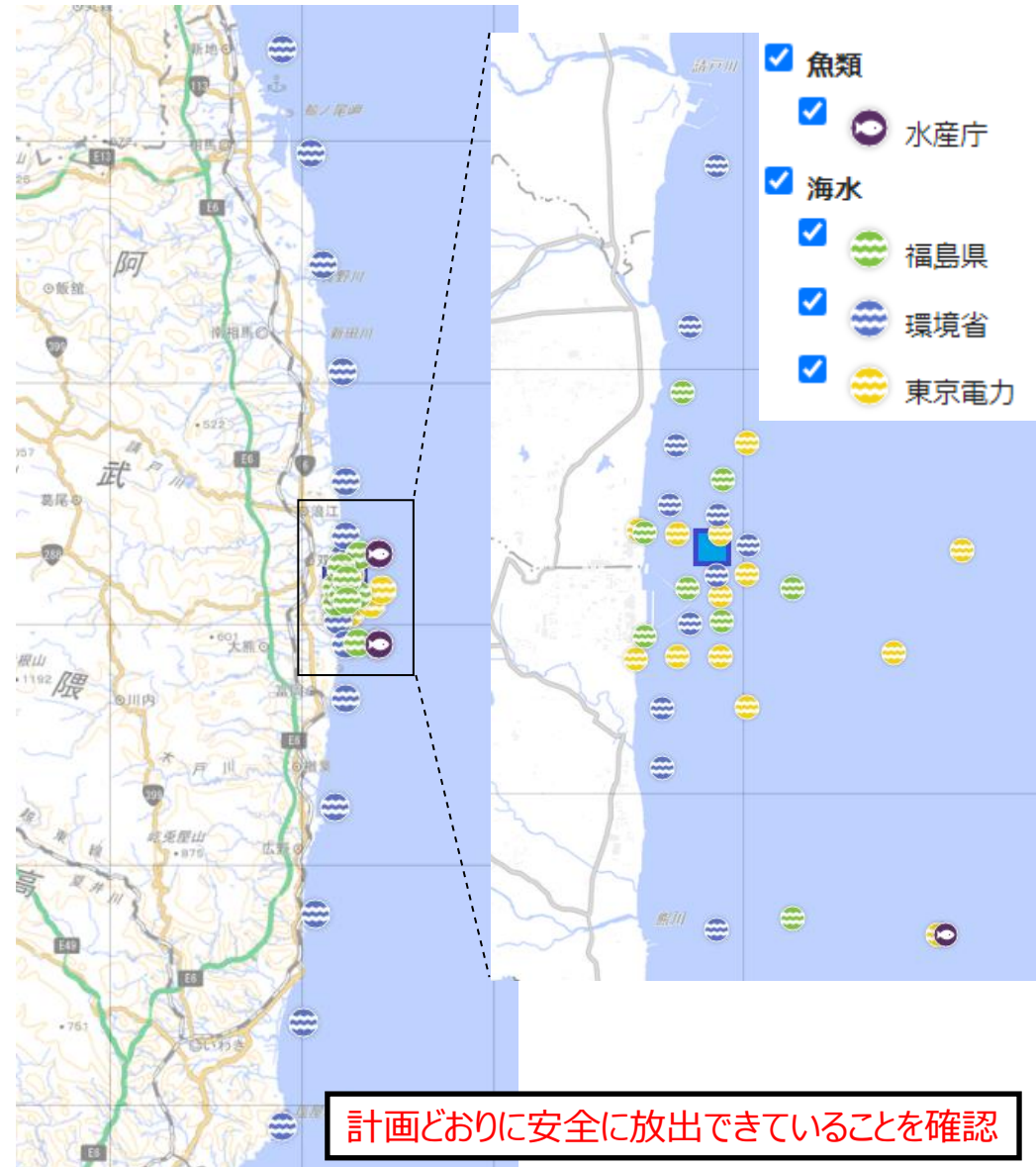
○海水中トリチウムを測定

- 放出期間中、放水口近傍 3 地点で期間中 2 回、その他沿岸 20 地点で期間中 1 回、迅速分析を実施。

（参考）原子力規制庁

○海水中トリチウムを精密分析にて測定。

- 20km以上離れた海域や、宮城県沖南部、茨城県沖北部でも、精密分析を実施。



計画どおりに安全に放出できていることを確認

- 2022年8月から、東京電力が、東京電力福島第一原子力発電所の廃炉の取組について、**定期的に地元紙（福島民報、福島民友、岩手日報、河北新報、茨城新聞）に広告を掲載。**
- 本年8月は2回掲載しており、今後も**月1～2回の頻度で継続的に実施を予定。**

新聞への広告掲載内容

（左上：モニタリング状況のお知らせ、右下：5号機使用済燃料を共用プールへ移送し、安全に管理します）

福島第一原子力発電所「周辺海域のモニタリング状況」のお知らせ (2025年8月)

東京電力ホールディングスは2022年4月から、発電所近傍や福島県沿岸の海域において、トリチウムを含む放射性物質の監視(モニタリング)を強化しています。

海域モニタリングにおけるトリチウム濃度は、運用上の指標(放出停止判断レベル:700ベクレル/ℓ)を大きく下回り、計画どおり安全に放出できていることを確認しています。引き続き、ALPS処理水の海洋放出における安全性の確保に万全を期してまいります。

3km圏内(港湾内を除く) 20km圏内

エリア	海水の測定結果【単位:ベクレル/ℓ】 (2025年7月1日～7月未定までに得られた測定結果の最大値)
トリチウム [迅速測定**]	3km圏内 31 20km圏内 検出せず(<9.7)
セシウム134**	3km圏内 検出せず(<0.98) 20km圏内 検出せず(<0.0015)
セシウム137**	3km圏内 検出せず(<0.94) 20km圏内 0.0095

【参考】トリチウム濃度の比較

単位:ベクレル/ℓ

80,000 国の規制基準(排水口)**

10,000 世界保健機関(WHO)飲料水水質ガイドライン

700 放出停止判断レベル**2(設置所から3km以内)

TEPCO

5号機原子炉建屋に貯蔵している使用済燃料を共用プールへ輸送し、安全に管理します。

▶2025年7月23日、5号機原子炉建屋の使用済燃料プールに貯蔵している燃料1,542体(使用済燃料1,374体、新燃料168体)のうち、使用済燃料1,374体の取り出しを開始しました。

▶使用済燃料は、専用の輸送容器に収納した上で取り出し、発電所構内にある共用プールへ輸送・保管します。

▶共用プールで集中管理することにより、冷却機能の喪失や水位低下などのリスクを低減することができます。

▶引き続き、中長期ロードマップの目標(2031年までに全号機の使用済燃料プールからの燃料取り出し)に向け、安全かつ計画的に作業を進めています。

燃料ラック

燃料取り出し機(クレーン)

使用済燃料(燃料集合体)

使用済燃料プールから燃料を取り出す様子
(撮影日:2025年7月23日)

5号機使用済燃料取り出しの様子

重量:約97t 外径:約2.6m 長さ:約6.3m 収納体数:22体

4号機で使用した燃料を輸送する専用容器
5号機も同型を使用
(撮影日:2015年11月13日)

【1～6号機に保管されている燃料の状況(2025年7月23日現在)】

	1号機	2号機	3号機	4号機	5号機	6号機
新燃料	100	28	0	0	168	428
使用済燃料	292	587	0	0	1,374	0
合計	392	615	0	0	1,542	428

【使用済燃料プールからの燃料取り出し手順】

- ①専用の輸送容器を使用済燃料プール(以下、プール)内に設置
- ②燃料取り出し機を使って、プール内で燃料を慎重に輸送容器内へ収納
- ③プールから輸送容器を取り出し
- ④クレーンで地上層まで輸送容器を吊り下ろし
- ⑤車両を使って、輸送容器を共用プールへ輸送
- ⑥共用プール内へ燃料を移して保管

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー (福島)

福島第一原子力発電所の廃炉・汚染水・処理水対策
▶【皆さまのご意見をお聞かせください】
https://www.tepco.co.jp/decommission/voice.html

TEPCO 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
〒979-1301 福島県双葉郡大畑大字大字北22